



平成22年5月7日

各 位

会社名 京王電鉄株式会社
代表者名 代表取締役社長 永田 正
(コード番号 9008 東証第1部)
問合せ先 総合企画本部 経 理 部
企画担当課長 金子 健司
(電話 042-337-3166)

「京王グループ中期5カ年経営計画（2010～2014年度）～転換と強化～」 の策定について

当社では、「京王グループ中期5カ年経営計画（2010～2014年度）～転換と強化～」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

国内経済は一部に持ち直しの動きが見られるものの、デフレの長期化、少子高齢化の進行、不透明な消費動向など企業経営を取り巻く環境は依然として厳しいものがあります。

京王グループでは、こうした社会構造変化がもたらす経営環境の閉塞状況を長期的・根本的なものと捉まえ、グループ全社を挙げた対応が急務であると認識しております。

今般、鉄道事業における安全・サービス投資の規模、沿線拠点における大型開発案件のスケジュール、およびそれらにかかる財務的影響などについて中期的に見通し、2010年度を起点とする中期5カ年経営計画（2010～2014年度）を策定いたしました。京王グループでは、当中期5カ年経営計画を「転換と強化」と銘打ち、各施策に取り組んでまいります。

当中期5カ年経営計画における取組みの方向性と、その確実な遂行が今後の京王グループの姿を決めることになると認識し、各数値目標の実現により将来に向けた道筋を確かなものにすると同時に、5カ年計画終了時には、利益水準に加えて財務状況をも改善した姿を目指すこととします。

I. 基本方針

当中期5カ年経営計画の遂行にあたっては、これまで継続してきた公共輸送機関として欠かすことのできない安全性の向上や、吉祥寺、調布、笹塚などの拠点開発をはじめとした沿線の活性化を推進しつつ、「コスト構造の転換」と「財務体質の強化」を重視し、この先の経営環境の変化や大規模工事の実施にも耐えうる強固な体制を整えてまいります。

具体的には、売上げ低下局面でも利益確保可能なローコスト経営を徹底するとともに、投資に要する資金調達を同期間内に生み出す自己資金によることで、有利子負債を極力抑制してまいります。その上で、今後の笹塚以西鉄道立体化などの大規模工事に際しても磐石の状態で臨めるよう、現段階から体制づくりを進めてまいります。

こうした取組みにより、着実な利益確保と早期段階でのフリー・キャッシュ・フローのプラス化、さらには利益を適切に分配していく株主還元策を実施するとともに、来たる2013年度の京王線・路線バス開業100周年を次なる時代への新たな出発点と位置づけ、今後も多様化するニーズや生活スタイルに合致した施策を実施することで、将来にわたり発展・成長する企業を目指してまいります。

【参考】中期5カ年経営計画期間中の大型投資

投資案件	スケジュール
駅のバリアフリー化	2010年度完了予定
A T C（自動列車制御装置）の整備	2011年度完了予定
調布駅付近連続立体交差事業	2012年度完了予定
京王吉祥寺駅ビル建替え	2013年度完了予定
調布プロジェクト（地上利用）	推 進 中
京王重機ビル建替え（笹塚）	
（京王線・路線バス開業100周年）	（2013年4月）

Ⅱ. 経営目標 (2014 年度)

営業収益	当期純利益	EBITDA (注)	有利子負債
4,100 億円	160 億円	700 億円	3,300 億円

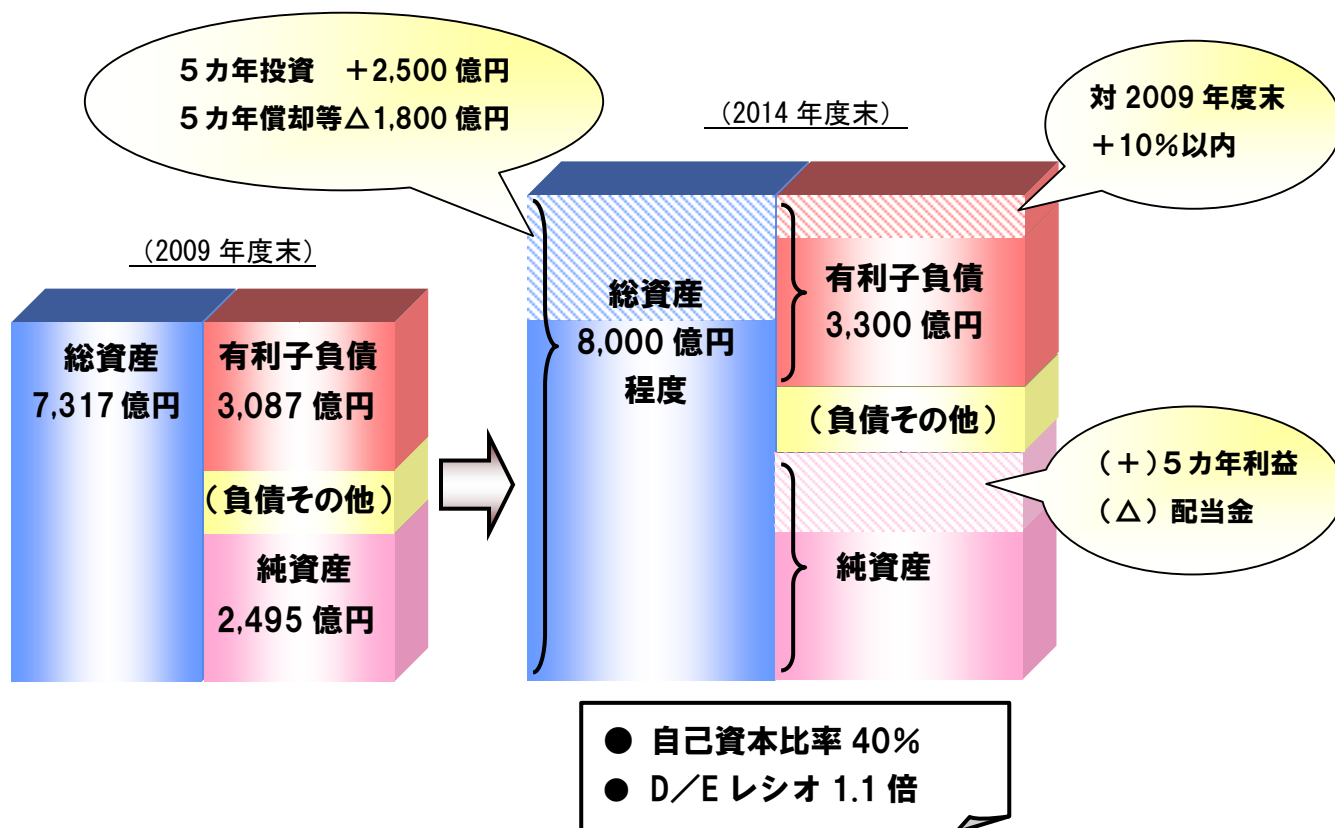
(注) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

Ⅲ. 定量的見通し

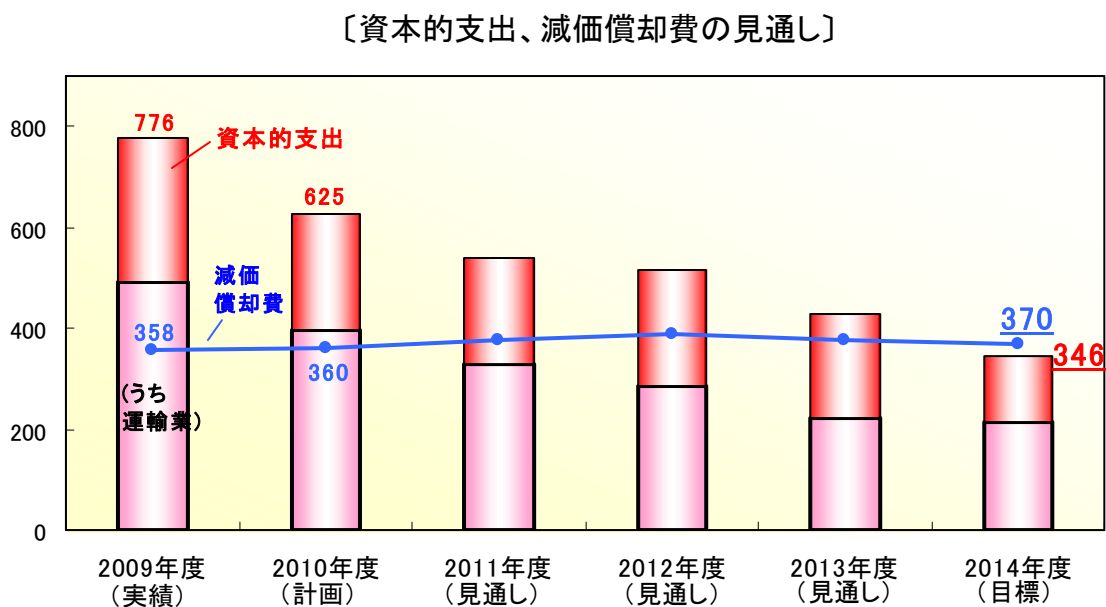
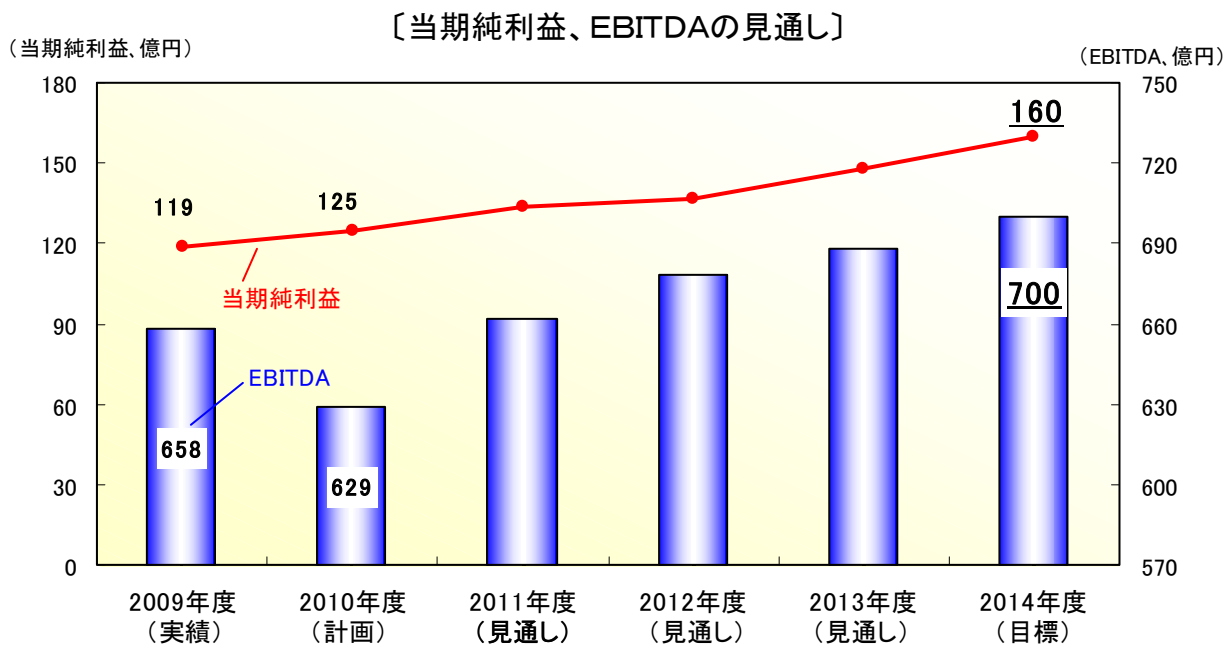
1. 財務・安全性指標 (2014 年度末)

総資産	純資産	自己資本比率	D/E レシオ
8,000 億円程度	3,000 億円程度	40%	1.1 倍

【参考】財務の見通し (イメージ)



2. 中期5カ年（2010～2014年度）の見通し



IV. 株主還元策

内部留保の拡充に対応して、利益や純資産の増加部分を適切に分配していくため、連結配当性向30%以上を目標とする株主還元策を導入してまいります。

V. 2010年度重点施策

1. さらなる安全性・サービスの向上

(1) 安全性の向上

- ① 運輸安全マネジメントの強力な遂行による「責任事故ゼロ」の継続を目指し、「安全はすべてに優先する。」を基本とした安全意識のさらなる浸透をはかります。
- ② 京王線の信号システムのATC切替を完了させます。井の頭線においては地上装置の設置など工事を推進させ、2011年度の切替を目指します。
- ③ 構造物の耐震性向上のため、駅部耐震補強を完了させるほか、高架橋柱やずい道の補強工事を引続き行います。また吉祥寺駅については高架橋改築工事に引続き、駅ビル建替え工事に着手します。
- ④ バス事業をはじめとしたグループの運輸業各社において、安全対策機器類の導入・活用や安全教育の継続的な実施などにより、安全管理体制をさらに推進させます。

(2) 安心・快適な輸送サービスの提供

- ① バリアフリー新法に基づく駅の段差解消に向けて、駅改良工事を推進させます。つつじヶ丘駅をはじめ9駅で橋上駅舎化により、千歳烏山駅をはじめ3駅でスロープやエレベーター設置によりバリアフリー化を完了させ、下北沢駅を除く全駅での段差解消を完了させます。
- ② 駅係員と通話できるホームインターホンや、異常時情報も表示することができるホーム行先案内板の全駅設置を完了させ、情報案内の充実によりホームでの安心をさらに向上させます。

(3) 大規模工事の推進

- ① 調布駅付近連続立体交差事業については、2012年度の事業完了を目指し、シールドマシンによる駅間のトンネル掘進を完了させ、国領、布田、調布駅の駅部躯体築造を進めます。
- ② 笹塚以西の鉄道立体化については、事業主体である東京都とともに事業化に向け、代田橋駅～つつじヶ丘駅付近の都市計画および環境影響評価の手続きを進めます。
- ③ 小田急線連続立体交差事業・複々線化事業にともない、下北沢駅の改良工事に着手します。

2. 沿線の活性化 ～街のチカラに～

(1) 沿線拠点開発の深耕と具体化

- ① 吉祥寺地区では、京王吉祥寺駅ビル建替え工事に着手します。
- ② 調布地区では、鉄道の連続立体交差事業完了後の地上利用について、基本計画の策定を行います。
- ③ 笹塚地区では、京王重機ビルの建替えについて関係各者との調整を進め、円滑な事業推進をはかります。
- ④ 聖蹟桜ヶ丘地区では、2011年3月の聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター開業25周年に向け、活性化を進めます。
- ⑤ 新宿地区では、保有資産の将来構想について、継続的に検討を進めます。

(2) 新たな施策への取組み

- ① 商業施設では、永福町駅ビルを竣工・開業させるほか、東府中駅やつつじヶ丘駅における店舗建設工事を進捗させます。賃貸住宅では、(仮称)緑町3丁目マンション(府中市)を竣工させるほか、(仮称)代々木公園マンション計画を推進させます。
- ② 京王電鉄バスグループおよび西東京バスでは、既存路線強化とともに新規路線開設に取り組みます。
- ③ 京王ストアでは久我山で新規出店、永福町でリニューアルを行うほか、京王書籍販売、京王リテールサービス、京王食品などにおいても駅改良にともなう出店を実施します。
- ④ シニアレジデンス1号店開業に向け、新会社を設立します。
- ⑤ 京王ほっとネットワーク3号店となる永福町店を開設し、生活サポートサービスの井の頭線沿線への展開をはかります。
- ⑥ 子育て支援事業については、4月に4号店として開設した京王キッズプラッツ南大沢(東京都認証保育所)を含めた施設の安定運営と、2011年4月の京王キッズプラッツ永福町開設に必要な準備を完了させます。
- ⑦ グループカードとしての京王パスポートカードについて、提携カードの刷新を検討するとともに、ポイントメニューの多様化等の会員サービス増強や顧客分析による販促活動の強化により、カード会員や取扱高の増加をはかります。

3. その他の取組み

(1) 経営体制の整備

- ① 国際会計基準への対応として、体制の整備や方針の策定など準備を進めます。
- ② 事業継続計画に基づき、大規模災害や新型インフルエンザの発生リスクに備えた危機管理体制を維持向上させます。

(2) 環境活動への取組み

- ① グループとしての環境関連法規制強化への対応、環境マネジメントシステム活動に積極的に取り組みます。
- ② 京王線7000系車両18両をエネルギー効率のよいVVVFインバータ制御装置へ改造し、2010年度末の整備率を96%とします。

(3) 周年事業の検討

- ① 2013年度の京王線・路線バス開業100周年に向けた施策の検討を開始します。

VI. 2010年度計画

年度 / 項目	営業収益	当期純利益	E B I T D A
2009年度実績	4,032億円	119億円	658億円
2010年度計画	3,950億円	125億円	629億円

この資料には、現時点における将来に関する前提・見通しに基づく予測が含まれております。実際の業績は、様々な要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。